

[前画面へ戻る](#)

④ 科目名	経済学概論
④ 科目名(英訳)	Introduction to Economics
④ 科目ナンバー	HI138B01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	申 成秀(非)
④ 単位数	2
④ 開講学年	3年
④ 開講セメスター	秋期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HI
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	類似科目情報あり
④ 担当者及び時間割	
④ カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	コミュニケーション学科専門教育科目の中の関連科目として位置づけられる。関連科目は、教員免許などの資格取得に必要な科目群である。本講義は、教員免許取得に必要な「教科に関する科目」の中の科目区分「社会学、経済学(国際経済を含む)」(「公民」[高校])、および科目区分「社会学、経済学」(「社会」[中学])に属する科目の1つである。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:◎ ④:○
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 国際的な視野

④ 授業の主旨 (概要)	経済学の基礎的な理論や用語を学習することを通じて、経済学の考え方や視点を学ぶ。また、経済学理論に関する知識だけではなく、グローバル経済や日本経済が抱えている諸問題や、環境問題と経済の関係などの実践的なトピックも取り扱う。経済学がそれらの問題についてどのように視点からアプローチしているのかについて考えていく。	
④ 具体的 達成目標	1.経済に関する基礎的な理論や用語を学び、経済学の考え方や視点を習得できる。 2.グローバル経済と日本経済が抱えている諸問題、また環境問題と経済成長の関係などの実践的なトピックについて、経済学の視点から考え、自らの意見を述べることができる。	
	1	<p>【内容】 イントロダクション:経済学とは何か</p> <p>【授業外学習】 事後学習:講義の内容の復習を行い、経済学の基礎知識に関する理解を深めること</p>
	2	<p>【内容】 ミクロ経済学の基礎1:需要の理論</p> <p>【授業外学習】 事前学習:参考書を参照して予習を行う 事後学習:需要の決定について復習を行ってから次回の講義に臨むこと</p>
	3	<p>【内容】 クロ経済学の基礎2:消費者行動の理論</p> <p>【授業外学習】 事前学習:参考書を参照して予習を行う 事後学習:授業で出題される演習問題を解く</p>
	4	<p>【内容】 ミクロ経済学の基礎3:供給の理論</p> <p>【授業外学習】 事前学習:参考書を参照して予習を行う 事後学習:供給の決定過程について復習を行ってから次回の講義に臨むこと</p>
	5	<p>【内容】 ミクロ経済学の基礎4:市場メカニズムの仕組み</p> <p>【授業外学習】 事前学習:参考書を参照して予習を行う 事後学習:授業で出題される演習問題を解く</p>

授業計画	6	【内容】	ミクロ経済学の基礎5: 市場の失敗			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: 授業で出題される演習問題を解く			
	7	【内容】	マクロ経済学の基礎1: GDPから考える景気と経済成長			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: GDPなどマクロ経済指標について復習を行ってから次回の講義に臨むこと			
	8	【内容】	マクロ経済学の基礎2: 消費と貯蓄			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: 講義の内容の復習を行ってから次回の講義に臨むこと			
	9	【内容】	マクロ経済学の基礎3: 投資と公共部門			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: 講義の内容の復習を行ってから次回の講義に臨むこと			
	10	【内容】	マクロ経済学の基礎4: 総需要の理論			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: 授業で出題される演習問題を解く			
	11	【内容】	マクロ経済学の基礎5: 貨幣と金融の機能			
		【授業外学習】	事前学習: 参考書を参照して予習を行う 事後学習: 講義の内容の復習を行ってから次回の講義に臨むこと			
	12	【内容】	資本主義の多様性1			
		【授業外学習】	事前学習: 授業資料を参照して予習を行う 事後学習: 資本主義の類型論について復習を行ってから次回の講義に臨むこと			
	13	【内容】	資本主義の多様性2			
	【授業外学習】	事前学習: 授業資料を参照して予習を行う 事後学習: 資本主義の類型論について復習を行ってから次回の講義に臨むこと				
14	【内容】	経済学と環境: 持続可能な発展				
	【授業外学習】	事前学習: 持続可能な発展の概念について調べておく 事後学習: 講義の内容の復習を行ってから次回の講義に臨むこと				
15	【内容】	授業の振り返りと小テスト				
	【授業外学習】	事前学習: これまでの授業内容を復習しておく				
授業方法	講義、パワーポイントやプロジェクターを利用して授業をすすめる。 学生が予習復習ができるように、授業資料を配布する。					
成績の 評価方法	小テストと期末レポートを総合して単位を付与する。					
成績の 評価基準	100点満点中60点以上を合格とする。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『超入門経済学—高校から大学への架け橋—』』	高橋知也, 鈴木久美	ミネルヴァ書房	2,750円	978-4-623072061-4
	2.	『経済学・入門〔第3版〕』	塩澤修平	有斐閣	2,530円	978-4-641-22004-1
備考						
関連 ホーム ページ						
メール アドレス	申 成秀 sxq6977@fsc.chubu.ac.jp					